(表紙)

宅地耐震事業計画(第1回変更)

岩手県盛岡市

令和5年2月 令和6年2月 **◇和6年02日04日**

11工2	5 貝	:1伸計画 趵火・女王父1	7 本						されば	16年02月01日		
計画の	3称 盛岡市宅地間	耐震化推進事業(防災・安全)										
計画の	明間 令和03年	丰度 ~ 令和07年度 (5年間)						重点配分	対象の該当	0		
交付対	象 盛岡市							·				
計画の	目標 早期に安全性	生を確認すべき大規模盛土造成地におい	て,変動予測調査(第二次スク	リーニング)を実施するこ	ことにより,市民の防災意識	の向上を図り , 市の安全	È , 安心なまちづくりに寄与す	る。				
全体事	業費(百万円)	合計 (A + B + C + D)	52 A	52 B	0 C	0 D	0 効果促進事	事業費の割合 C / (A + B +	C + D)	0 %		
				計	画の成果目標(定量的指標))						
			定量的指標の現況値及び目標値									
番号			当初現況値	中間目標値	最終目標値							
							R 3 当初	R 5 末	R 7末			
1	早期実施箇所に	おいて第二次スクリーニングを実施し,	大規模盛土造成地の安全性を公	表する。								
	大規模盛土造成均	也の安全性の公表					0%	50%	100%			
	調査結果公表箇月	新 / 調査対象箇所										
	ı						1	L	<u> </u>			
		備考等	1	個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む -	定住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含む	- 流域水循環計画を含む	- 地域再生計画	で含む -		

1

A 基幹事業							•										
		事業 地域 交付 直接 事業者		括則 1	要素とな種別 1 種別 2		事業内容	市区町村名/			間(年度)		費用	個別施設計画			
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接		作里力」(作里のリム	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R03 R	.04 RC)5 R06 R07	(百万円)	便益比	策定状況
			実施する	ることによ	より期待	される効果											
		備考															
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	盛岡市	直接	盛岡市	-	-	大規模盛土造成地の変動	第二次スクリーニング (地盤	盛岡市				52		-
		1	'						予測調査	調査、安定計算等)						ı	
			$\overline{\mathbf{I}}$		\top	\top	\top	\Box	T	T	小計	\top	\top		52		\Box
		<u> </u>									13.61	\perp					
		<u> </u>															
		 	Т	T	\top			T		T		\top			F2.		
		<u> </u>	'								合計	$\perp \perp$			52		
		<u> </u>															
		<u> </u>															
		<u></u>	'														
																1	
				-				·I		-1	-1						
					T	T	\top					\top					
								<u></u>									
		<u> </u>															
		<u> </u>	Т	T	\top	T	$\overline{}$	$\overline{}$	T	_	T	\top	$\overline{}$				\top
			'									$\perp \perp \perp$					
		<u> </u>															
		-		Т							T				T ,		
			'									$\perp \perp$					

1 案件番号: 0000536947

					(丰區:日/川1)
		R03	R04		
	配分額 (a)	6	0		
Ė	計画別流用増 減額 (b)	0	0		
	交付額 (c=a+b)	6	0		
Ħ	前年度からの繰越額 (d)	0	6		
	支払済額 (e)	0	3		
	翌年度繰越額(f)	6	0		
	うち未契約繰越額(g)	6	0		
	不用額 (h = c+d-e-f)	0	3		
未契約繰越	基率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100	50		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場		- 令和3年度補正にて次年度	低価格落札での事業実施に		
合その理由		 実施予定事業の前倒し計上 	なったことより、不用額が		
		したことによる。	生じた。		
					